



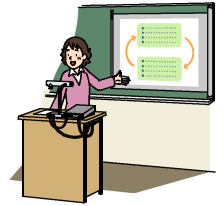
平成28年度 秋田県総合教育センター
総合教育センターだより

第153号
 2016年9月1日発行
 〒010-0101 湯上市天王宇追分西29-76
 TEL 018-873-7200 (代表)
 http://www.akita-c.ed.jp

第31回秋田県教育研究発表会 分野別研究発表者を募集します!

秋田県総合教育センターでは、本県教育の振興を目指して、県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、各学校、教育機関等における教育研究成果の普及・交流を図るために、発表会コンセプト「郷土あきたの教育への提案」の下、次のとおり「第31回秋田県教育研究発表会」を開催いたします。

〈 期 日 〉 平成29年2月9日(木)～10日(金)
 〈 会 場 〉 秋田県総合教育センター



開催にあたり、次のとおり発表者を募集していますので、奮ってご応募ください。

研究分野

- | | | |
|---------|-----------------|----------------------|
| ① 学校運営 | ② 教科指導 | ③ 教科外指導(道徳・特別活動等) |
| ④ 生徒指導 | ⑤ 情報教育 | ⑥ 特別支援教育 |
| ⑦ 就学前教育 | ⑧ ふるさと教育・キャリア教育 | ⑨ その他教育に関すること(環境教育等) |

発表者資格

県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員及び教育機関の職員のうちで次のいずれかに該当する方

- ① 発表を希望し、所属長の推薦を受けた方
- ② 秋田大学等における大学院派遣研修生及び修了された方
- ③ 研究指定や、各地区の研究会等での発表者で会長及び所属長の推薦を受けた方

発表形式

「口頭発表」と「ポスター発表」の2つの発表形式により発表者を募集しますが、各学校等での汎用性がある研究発表を基本とし、発表のまとめが「提案を基調とする内容」となるような形をお願いします。

発表の申込みについて

発表を希望する方は、所属長の推薦を受け、所定の様式により電子メールで申し込んでください。申込書は、当センターホームページからダウンロードできます。

- ◆ 申込期間 平成28年9月1日(木)～10月31日(月)
- ◆ 申込み・問合せ先 秋田県総合教育センター
 教科・研究班 熊谷 禎子・黒澤 望
 TEL: 018-873-7203 E-mail: happyou@akita-c.ed.jp



教育研究発表会参加申込みの受付は、12月上旬からです

参加の申込み方法を記した「第二次案内」を、12月上旬に当センターホームページに掲載します。参加申込受付はそれ以降となりますので、今しばらくお待ちください。なお、上記「分野別研究発表」の他、「センター研究発表」「講演」など、参加者が県内外における様々な教育実践や教育研究に触れるとともに、実践を紹介し合う内容となっています。

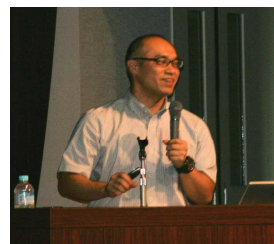
★詳しくは、当センターホームページのトップページ「秋田県教育研究発表会」→「第31回秋田県教育研究発表会(第一次案内)PDF版」をご覧ください。

公開講演紹介

通常学級のユニバーサルデザインと合理的配慮

講師 東京都立青山特別支援学校 主任教諭 川上 康則 氏

平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行され、共生社会の実現に向けて大きな節目を迎えています。8月8日(月)、東京都立青山特別支援学校の川上康則主任教諭を当センターにお招きし、通常学級に在籍している発達につまずきのある児童生徒の理解と支援について、豊富な知識と経験を基に御講演をいただきました。



講演の主な内容

- ・「障害者差別解消法」が施行され、合理的配慮の不提供は差別に当たるとされた。教育現場が今、本当に向き合わなければならないのは、「合理的配慮の申請にどう対応するのか」といった目先の問題解決ではなく、差別や偏見をもたない子どもの心の育成を本気で考えることである。
- ・通常学級においては、学級経営・教科指導と合理的配慮を両輪で考えることが大切である。ルールや約束事で縛るのではなく、心を通わせる関係づくりが重要となる。まずは教師と子どもをつなぐ縦系を太くし、子ども同士をつなぐ横系を学習活動を通して育てていきたい。通常学級の特別支援教育は、授業改善と集団づくりが最大のポイントである。

川上先生は、授業スタイルで講演を進めてくださり、受講者が実際に「学び合い」を体験しながら、合理的配慮や授業づくりについて理解を深めることができました。障害のことや障害のある子どもたち、そして家族のことを「知らないという障害」を無くしていきたいという思いを、改めて確認し合えた大変有意義な講演でした。

受講者の感想より

- ・「法があるから差別しない」ではなく、心の底から差別や偏見をなくすこと、そういった子どもの育成を目指したいと思います。(小学校教員)
- ・これからの学級づくりや授業づくりのパワーが湧いてくるようなお話でした。子ども理解の守備範囲を広げ、3月には子どもたちが最高のクラスと言えるようにしたいと思います。(小学校教員)
- ・生徒のため、本当に支援を必要としている人を見失わないようにしていきたい。ユニバーサルデザインは学級経営にも有効なのだと思えました。(高等学校教員)

「星の観察教室」へのご来場 ありがとうございます

8月10日(水)、「星の観察教室」を開催しました。

今年は、祝日前夜の開催となったことで、昨年度の来場者数を上回る、309名の方々にお越しいただきました。

今年も大人気のプラネタリウムは、受付開始後まもなく定員に達し、大型天体望遠鏡での星空観察会にも長蛇の列ができました。また、星座展示のコーナーでは、地球からそれぞれ異なる距離にある星をつないで見ていることを示す立体模型を用い、実際に体験して楽しんでいる子どもたちの姿が見られました。

作成した星座早見盤で、他の季節の星空も観察してみたり、冬のプラネタリウム教室にも参加してみるなど、宇宙への関心を深めるきっかけになってくれればと思います。



シミュレーターで宇宙へ出発！



「土星の輪が見えたよ！」

来場者アンケートより

- ・初めて参加したが、今までより、天体観察に興味をもつことができた。
- ・とても充実していました。また次も来たいです。
- ・夏休みの自由研究に利用したので、この時期でよいと思った。
- ・1日だけでなく、定期的にプラネタリウムを見られる機会をつくってほしい。

「プラネタリウム教室」は、12月にも実施いたします。詳細は、次号の「総合教育センターだより」でお知らせいたします。